

行政評価シート(事後評価)

コード 2-1-3	事務事業名 田無庁舎維持管理	所管部課 総務部 管財課
--------------	-------------------	-----------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	田無庁舎の維持管理を的確に行うことで、市民や職員等が安全、快適に利用できるよう、良好な環境の維持に努め、市民サービスの向上を図る。		<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等		
	清掃、警備、各種設備の保守点検等の施設維持管理や、老朽化に伴う維持補修を行う。		
事業開始時期	合併以前	年度	実施形態
<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()			

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)			153,730	141,762	149,746
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
内訳	その他 ()					
	一般財源		153,730	141,762	149,746	160,808
所要人員(B)	人		0.70	0.70	0.70	0.70
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		5,730	5,713	5,713	5,713
臨時職員等賃金(C')	千円		0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		159,460	147,475	155,459	166,521
単位当たりコスト						
(E)=(D) / (年間日数(365日))	千円		437	404	426	456

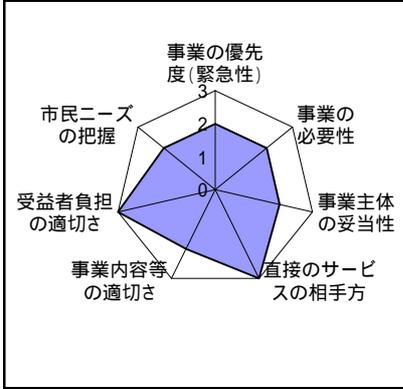
評価指標の設定	活動等指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	開庁時の単位コスト	実績値	千円	630	579	611
補修・工事の営繕費	実績値	千円	17,972	9,078	12,975	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 一日あたりの維持管理に要する経費 経年劣化による補修工事等の増						
評価指標の設定	成果指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	一 補修要望の達成率	目標値 率 実績値 率		100	100	100
次 経年劣化の補修・工事件数	目標値 件 実績値 件		19	28	20	20
二 満足度率	目標値 率 実績値 率					
(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次) 要望、苦情に対応した補修率、経年劣化等による補修・工事件数 (二次) 要望、苦情に応じて修繕した結果の満足度率						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	市長への意見、市民メール等で意見・苦情がある。(各課の案内標示が見にくい。各フロアの時計が何処にあるかわからない。駐車場・駐輪場が混み合っている、トイレ等を高齢者・障害者等に配慮して欲しい)	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	二庁舎体制をとっている市は近隣に比べて単純に比較できないが二庁舎を維持しているということでは管理体制は良いと思われる、しかし管理期間が延びるほど財政上負担がかかっていくことになる。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

コード 2-1-3	事務事業名 田無庁舎維持管理	所管部課 総務部 管財課
--------------	-------------------	-----------------

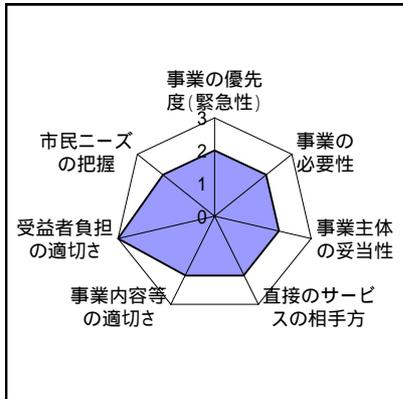
【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>老朽化による工事・修繕は最小限に留め、先送りの出来るものは先送りとした。高齢者・障害者等へ配慮した改修・来庁者の多様なニーズへの対応が予算面から出来ていない。</p> <p>施設保全計画の策定に合わせた中長期的な計画に基づき、庁舎管理がなされるべきである。</p>
事業の必要性	2		
事業主体の妥当性	2		
直接のサービスの相手方	3		
事業内容等の適切さ	2		
受益者負担の適切さ	3		
市民ニーズの把握	2		



【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>田無庁舎の維持管理経費は、年間1億5千万円～1億6千万円ほどかかっている。本市が二庁舎体制をとっていることを考えると、他市よりも庁舎管理に費やす経費が多額となっていることが想定されることから、常に費用対効果を前提に委託内容等の見直しを図るとともに、庁舎維持補修についても緊急性・必要性などを検証した上で実施することが必要である。</p> <p>さらに、将来的な庁舎のあり方なども十分踏まえ、より効果的な庁舎管理に努めることが必要である。</p>
事業の必要性	2		
事業主体の妥当性	2		
直接のサービスの相手方	2		
事業内容等の適切さ	2		
受益者負担の適切さ	3		
市民ニーズの把握	2		



【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>限られた財源の中、必要性や緊急性に配慮しながら、修繕・改修工事等を行っていることは評価できる。今後、より効率的・効果的に田無庁舎の維持管理を行うには、今後策定される施設保全計画を踏まえた中長期的な視点が必要である。また、本市は二庁舎体制をとっており、他市よりも庁舎管理に費やす経費が多額となる傾向にあることを念頭におき、委託内容等の見直しなど、引き続きコスト削減に向けた取組に努められたい。</p>